

取扱説明書

《特記事項》

(1) 月曜日～土曜日の 8 時～20 時は管理人が常駐しております。

日曜日や時間外は、建物駐車場入り口シャッターは閉鎖しております。パスカードにて通用口から入り、管理人室横のボタンにてシャッターの開閉をしてください。

※出庫後はシャッターの閉め忘れにご注意ください。

(2) 本駐車場の利用には「機械式駐車場の鍵」と「暗証番号」、「駐車場出入口のパスカード」が必要です。紛失等による再発行については以下の手数料が発生します。

※鍵紛失の場合：5,000 円(税別)

※パスカード紛失の場合：6,000 円(税別)

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

以上

NISSEI

Parking System

取扱説明書

契約利用者用



MGパーキング

建設大臣認定特殊駐車装置 第117号

目次

1. はじめに

1.1 本書の目的	1-1
1.1.1 本書の構成	1-1
1.1.2 表記について	1-2

2. 機械の概要

2.1 主要構造	2-1
2.1.1 パーキング全体	2-1
2.1.2 乗込口	2-2
2.2 機械の動作	2-3
2.2.1 入庫時の動作	2-3
2.2.2 出庫時の動作	2-4
2.3 設備の名称と働き	2-5
2.3.1 各種設備	2-5
2.4 操作盤の各部の名称と働き	2-11
2.4.1 操作盤全体	2-11
2.4.2 ボタン操作部	2-12
2.4.3 キースイッチ操作部	2-14

3. 安全

3.1 契約利用者の心得	3-1
3.1.1 安全確保	3-1
3.1.2 取扱方法の遵守	3-2
3.1.3 パーキング利用上の注意	3-3
3.2 災害などの非常事態の対処	3-4
3.2.1 地震発生時の対処	3-4
3.2.2 火災発生時の対処	3-4
3.2.3 浸水時の対処	3-4
3.3 乗込口に閉じ込められることのないために	3-5
3.3.1 人身事故の防止	3-5

4. 入庫の条件

4.1 入庫可能サイズ、重量	4-1
4.1.1 入庫可能な車のサイズと重量	4-1
4.2 入庫車に対する制限	4-4
4.2.1 制限内容	4-4

5. 入庫方法

5.1 入庫方法の概要	5-1
5.1.1 入庫手順	5-1
5.2 入庫前の確認	5-2
5.2.1 確認事項	5-2
5.3 トレーの呼び出し	5-4
5.3.1 暗証番号呼び出し	5-4
5.4 乗込口への進入	5-6
5.4.1 進入手順	5-6
5.5 入庫後の確認	5-7
5.5.1 確認事項	5-7
5.6 入庫の完了	5-9
5.6.1 暗証番号呼び出しの入庫完了	5-9
5.6.2 専用キー取り扱い上の注意	5-10
5.7 音声案内注意放送	5-11
5.7.1 音声案内注意放送の種類と内容	5-11

6. 出庫方法

6.1 出庫方法の概要	6-1
6.1.1 出庫手順	6-1
6.2 トレーの呼び出し	6-2
6.2.1 暗証番号呼び出し	6-2
6.3 パーキング外への退出	6-4
6.3.1 退出手順	6-4
6.4 車の方向変換	6-5
6.4.1 ターンテーブルの操作	6-5
6.5 出庫の完了	6-6
6.5.1 暗証番号呼び出しの出庫完了	6-6

7. 運転の取消

7.1 入出庫運転の取消	7-1
7.1.1 暗証番号呼び出しの取消操作	7-1

8. 運転不能時の対処

8.1 最初の確認事項	8-1
8.1.1 操作盤の表示の確認	8-1
8.2 異常発生時の運転不能への対処	8-2
8.2.1 対処方法	8-2
8.3 非常停止ボタンを押したときの対処	8-3
8.3.1 対処方法	8-3
8.4 エラー表示への対処	8-4
8.4.1 復旧可能なエラー表示への対処	8-4

1

はじめに

1.1	本書の目的	1-1
1.1.1	本書の構成	1-1
1.1.2	表記について	1-2

1.1 本書の目的

本書は、機械式駐車装置（以下、「パーキング」と称します）の契約利用者を対象とし、パーキングの取り扱いについて説明しています。パーキングの運転操作や取り扱いについては、管理責任者、または弊社の係員による説明を受けられるとともに、本書を熟読し、充分に理解してからご使用ください。

1.1.1 本書の構成

本書は1～8の章で構成しています。
各章と内容は、以下のとおりです。

1. はじめに

本書の目的と内容について

2. 機械の概要

パーキングの概要、構造、動作、及び各設備の働きについて

3. 安全

パーキングの安全運転、及び維持管理するための心得と注意事項について

4. 入庫の条件

パーキングに入庫できる車のサイズ、重量、及び入庫車に対する制限について

5. 入庫方法

車をパーキングに入庫する手順と操作方法について

6. 出庫方法

車をパーキングから出庫する手順と操作方法について

7. 運転の取消

パーキングの取消運転をする手順と操作方法について

8. 運転不能時の対処

安全装置による異常の検知、及び誤動作などによるエラーが発生したときの対処方法について

1.1.2 表記について

本書では、パーキングの取り扱いについて、次のマークと定義で危険の程度を区分し、パーキングを安全に取り扱っていただくための注意事項を記述しています。

危険

死亡または重傷に至る恐れがある取り扱いについての注意事項

警告

人身への負傷、および入庫車・機械・設備を損傷させる恐れがある取り扱いについての注意事項

注意

入庫車・機械・設備を損傷する恐れがある取り扱いについての注意事項

補 足

取り扱い中に起こる可能性がある不都合についてのアドバイス、またはパーキングを運転することができなくなる恐れがある取り扱いについての注意事項

その他の記号

〈 〉: 操作盤のキースイッチのモード

【 】: 操作盤の押しボタンの名称

その他の表記

『MT車』: マニュアルトランスミッション車、クラッチ操作が必要な自動車。従来から存在する、1～4（5・6）速とバックギアの組み合わせで走行する自動車。

『AT車』: オートマチックトランスミッション車、クラッチ操作が不要な自動車。自動車によっては無段変速式やシーケンシャル変速式等があり、それらの自動車を総称しています。

2

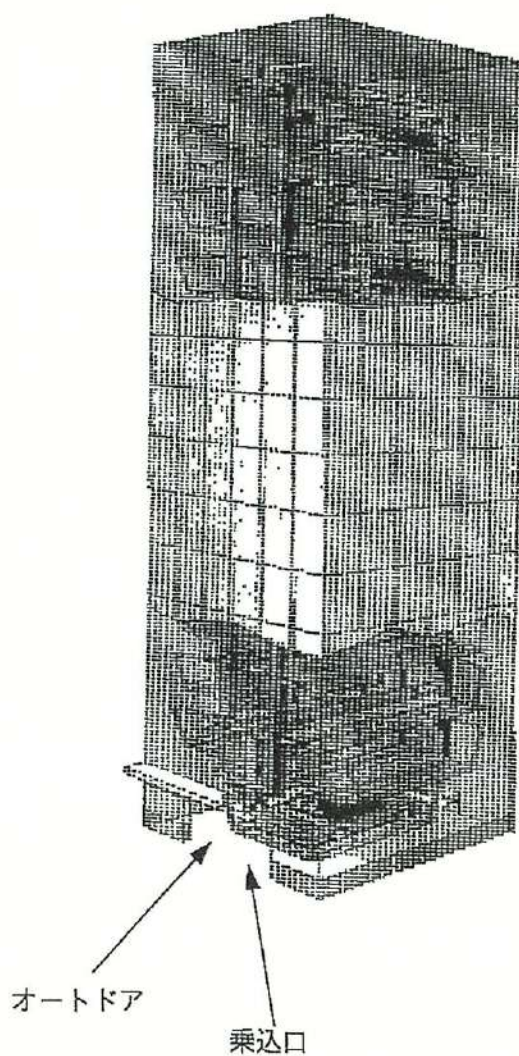
機 械 の 概 要

2.1	主要構造	2-1
2.1.1	パーキング全体	2-1
2.1.2	乗込口	2-2
2.2	機械の動作	2-3
2.2.1	入庫時の動作	2-3
2.2.2	出庫時の動作	2-4
2.3	設備の名称と働き	2-5
2.3.1	各種設備	2-5
2.4	操作盤の各部の名称と働き	2-11
2.4.1	操作盤全体	2-11
2.4.2	ボタン操作部	2-12
2.4.3	キースイッチ操作部	2-14

2.1 主要構造

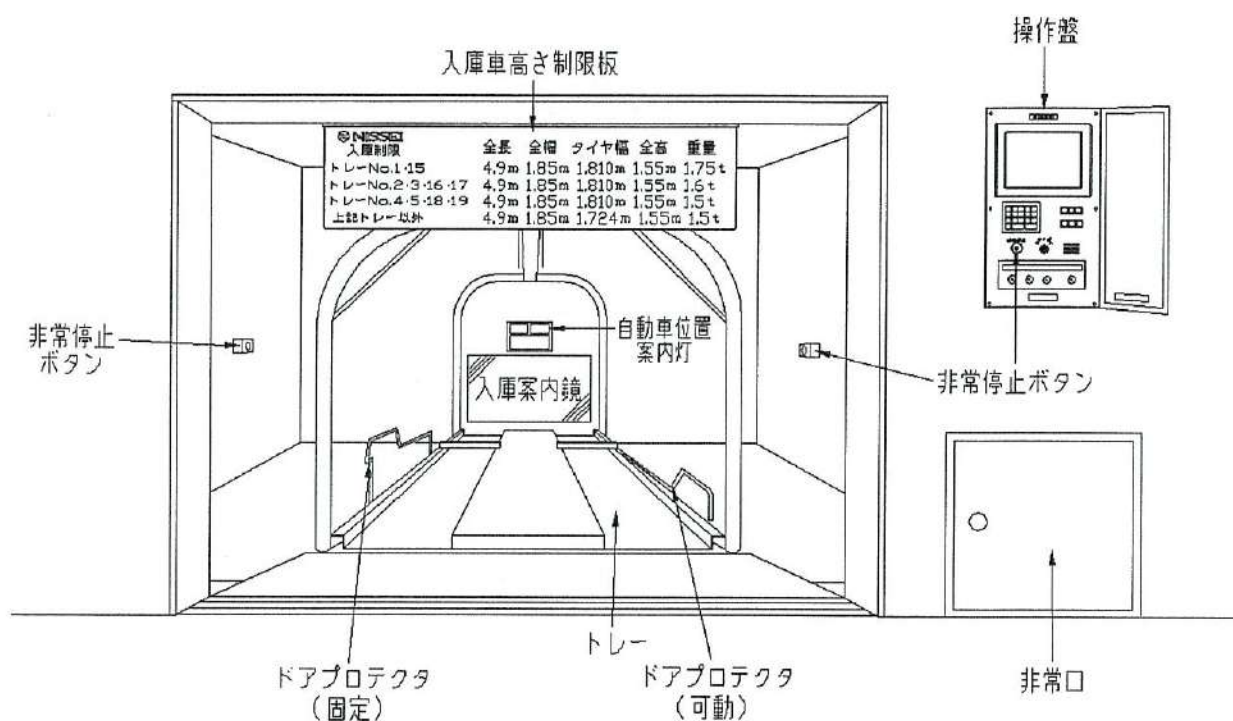
2.1.1 パーキング全体

パーキングに格納することができる車は、入庫可能なサイズ、重量以内の車に限ります。
但し、入庫可能なサイズ、重量以内でも入庫できない車もあるため、4.「入庫の条件」を参照してください。



本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.1.2 乗込口

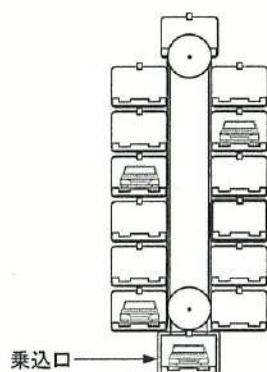


本図はMG パーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

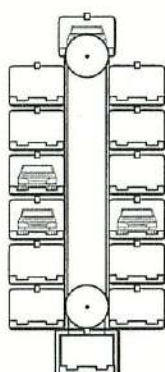
2.2 機械の動作

2.2.1 入庫時の動作

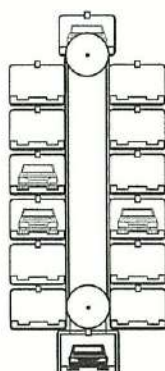
操作盤で入庫操作を行うと、機械は次のように動作し、車を入庫します。



操作盤で入庫操作をすると、空トレーを乗込口に搬送するために、駐車室に格納されているトレーが循環します。



呼び出されたトレーは乗込口に運ばれます。

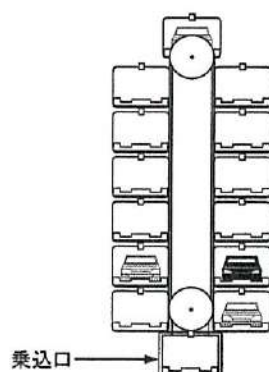


乗込口のトレーに入庫した車は、操作盤で次の入庫操作をしたときに駐車室内を循環します。

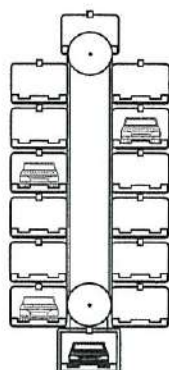
本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.2.2 出庫時の動作

操作盤で出庫操作を行うと、機械は次のように動作し、車を出庫します。



操作盤で出庫操作をすると、出庫する車を載せたトレーを乗込口に移動させるために、駐車室に格納されているトレーが循環します。



呼び出されたトレーは乗込口に運ばれます。

本図はMGパーキングの概念図であり型式、レイアウトにより異なります。

2.3 設備の名称と働き

パーキング内には、以下の各設備があります。

2.3.1 各種設備

■ 自動車位置案内灯

車をトレー内に停止するための指示を表示します。

表示内容を確認し、車を移動してください。

「前進」

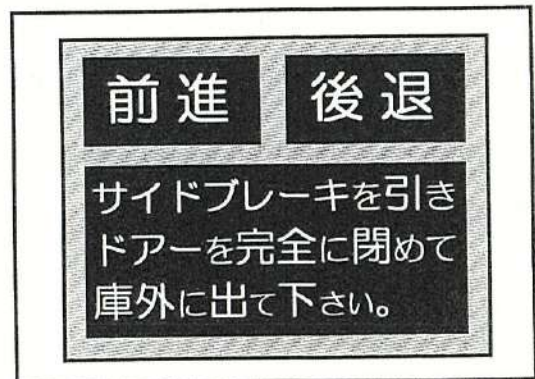
車がトレーに進出し、前進が必要なときに点灯します。

「後退」

車がトレーの定位置より前に行き過ぎているときに点灯します。また、必要に応じ後退を促すときにも点灯します。

「サイドブレーキを引きドアを完全に閉めて庫外に出てください。」

車がトレー内の正常な位置に達したときに点灯します。



■ 入庫車高さ制限板

 NISSEI 入庫制限	全 長	全 幅	タイヤ幅	全 高	重 量
トレ-No.1・15	4.9m	1.85m	1.810m	1.55m	1.75t
トレ-No.2・3・16・17	4.9m	1.85m	1.810m	1.55m	1.6t
トレ-No.4・5・18・19	4.9m	1.85m	1.810m	1.55m	1.5t
上記トレ以外	4.9m	1.85m	1.724m	1.55m	1.5t

入庫車高さ制限板は、入庫可能な車高にあわせて取り付けられています。



警告

入庫車高さ制限板を超える車を入庫すると、トレーを搬送するときに車が横転したり、機械の破損事故が発生する恐れがあります。

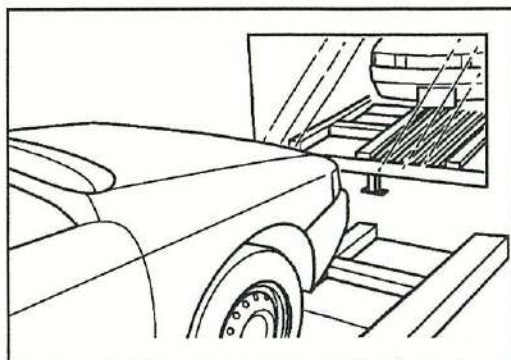


注意

入庫車高さ制限板に頭をぶつけないように、また、手で触れないようにしてください。

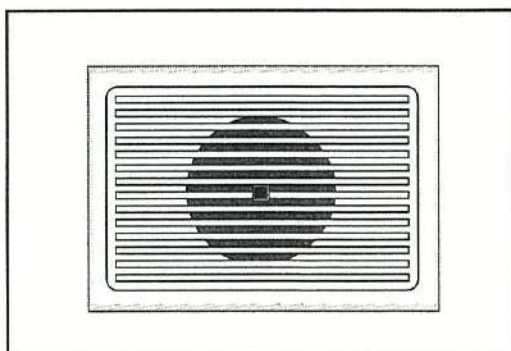
■ 入庫案内鏡

鏡に車の進入状態をうつし出し、入庫を容易にします。



■ スピーカー

利用者が実施する必要がある確認事項などを音声案内します。



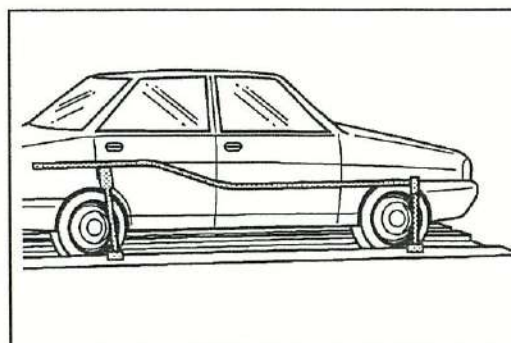
■ ドアプロテクタ

入出後の退出の際、ドアの閉め忘れや半ドアなどでパーキングの運転中にドアが開いたとき、ドアがトレイからはみ出して起きる事故を防止します。

ドアが開いているためドアプロテクタが起き上がらないときは、エラーが発生し、パーキングを運転することができなくなります。

⚠ 注意

ドアプロテクタはバックドアやトランク、ガルウィングなどの特殊なドアのはみ出しを防止することができないため、パーキングを運転するときは、必ず目視ですべてのドアが閉まっていることを確認してください。



■ 車止め

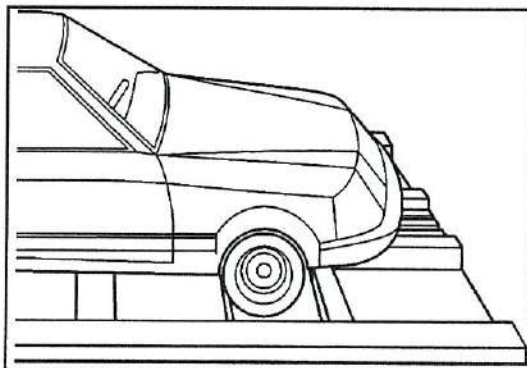
車をトレー内の正常な位置に停止させるための装置です。車のタイヤが車止めに納まる位置に停止させてください。

車の種類によっては、車止めにタイヤを納めるとトレーからはみ出すことがあります。トレーからはみ出していると自動車位置案内灯の「後退」が点灯します。車を停止させるときは、自動車位置案内灯の、「後退」が消灯していることを確認してください。

⚠ 警告

パーキングを運転するときは、必ず目視でタイヤが車止めに納まっていること、および車の前後左右がトレー内に納まっていることを確認してください。車の前後左右がトレー内に納まっていないと、パーキングの運転中に機械と接触するなどの事故が発生する恐れがあります。

車止めによる停止であっても、車の前後がトレーからはみ出しているときは、その車は絶対に入庫しないでください。



■ 光電装置

トレー上の車の有無、トレーからはみ出し、乗込口の人や障害物などを検知します。

光電装置は、光を送る側（投光器）と光を受ける側（受光器）があり、光をさえぎることで検知します。

トレーからはみ出しや、人や障害物を検知しているときは、パーキングを運転することができません。

光電装置は、位置によって検知する内容が異なります。

光電装置の位置と検知内容を示します。

A：トレーからの車の前後のはみ出しを検知

B：トレーに車があることを検知

C：乗込口への入室を検知

D：乗込口内の人を検知

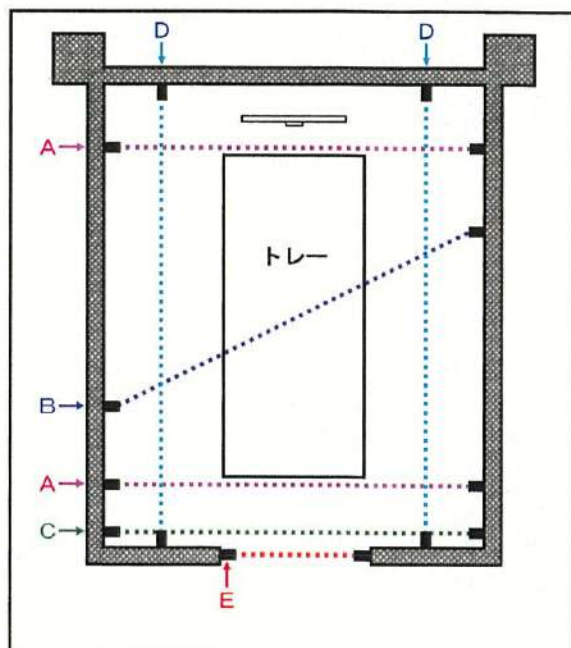
E：オートドアの反転を検知

⚠ 危険

光電装置の光をさえぎらない場所にいる人や障害物を検知することができません。また、車内にいる人も検知することができません。パーキングを運転するときは、必ず目視で乗込口や車内に人がいないこと、および障害物がないことを確認してください。

⚠ 注意

ドアミラーのトレーからはみ出しは検知できないため、ドアミラーを格納してから入庫させてください。また、パーキングを運転するときは、必ず目視でドアミラーがトレーからはみ出していないことを確認してください。



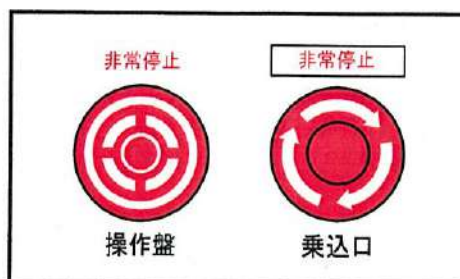
本図は概念図であり、型式・レイアウトにより異なります。

■ 非常停止ボタン

非常事態、異常事態が発生したとき、パーキングの運転を緊急停止させるための押しボタンです。操作盤に1個、乗込口に2個あります。

⚠ 注意

非常時、異常時以外は使用しないでください。

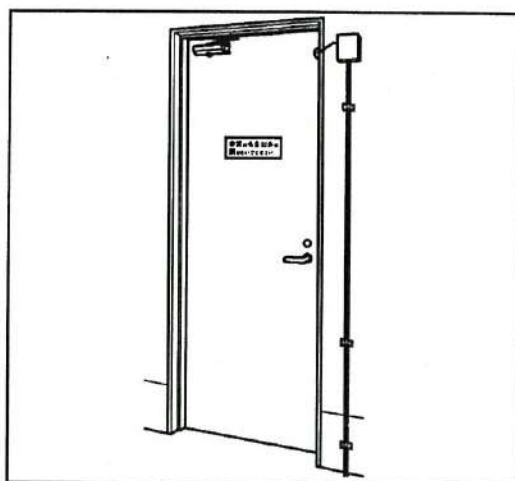


■ 非常口

非常口にはセンサーがあり、非常口が開いていると、パーキングを運転することができません。また、パーキングの運転中に非常口が開くとパーキングは緊急停止します。

⚠ 注意

非常口は避難用出口のため、通常の出入口として使用しないでください。



■ 制御盤

パーキング全体の電源を供給し、パーキングの運転を制御します。

⚠ 注意

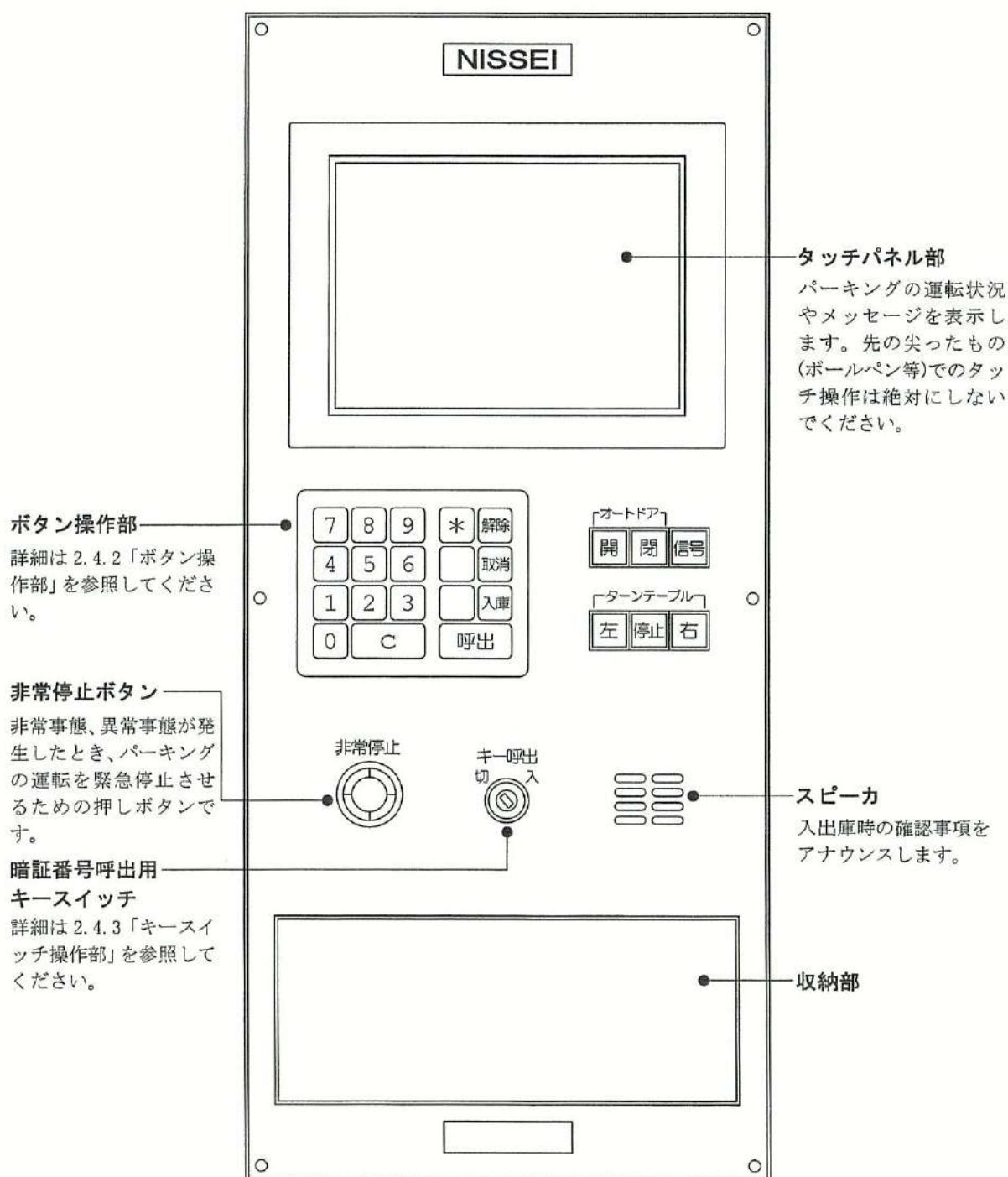
絶対に手を触れないでください。感電、けがの恐れがあります。

■ 消火設備

火災が発生したとき、不燃性ガスを放出し、パーキング内の消火を行ないます。詳しくは、消火設備の取扱説明書を参照してください。

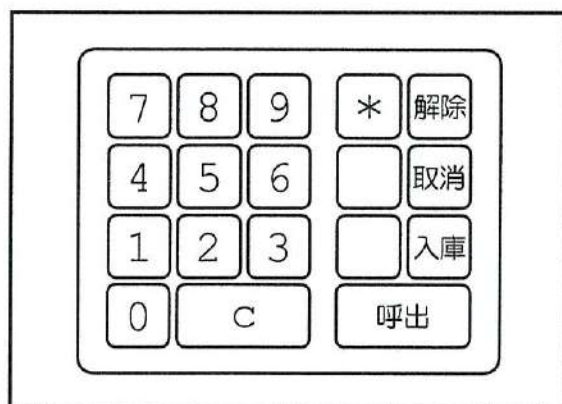
2.4 操作盤の各部の名称と働き

2.4.1 操作盤全体

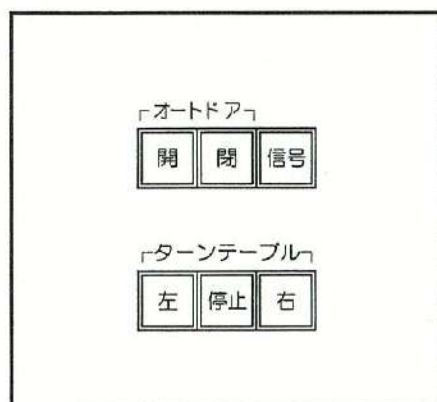








2.4.2 ボタン操作部

パーキングの運転を行うための操作パネルです。



操作ボタン	名 称	働 き
0 ~ 9	番号指定ボタン	暗証番号を入力するときに使用します。
C	クリアボタン	入力した番号をクリアするときに使用します。
解除	ロック解除 ボタン	パーキングのロック状態を解除するときに使用します。
取消	取消ボタン	運転中のパーキングを途中で停止させ、呼び出しを取り消すときに使用します。
入庫	入庫ボタン	弊社サービス員によるメンテナンス時の専用ボタンです。 不用意に触らないでください。
*	*マークボタン	弊社サービス員によるメンテナンス時の専用ボタンです。 不用意に触らないでください。
	無記名ボタン	弊社サービス員によるメンテナンス時の専用ボタンです。 不用意に触らないでください。
呼出	呼出ボタン	パーキングの運転を開始するときに使用します。



操作ボタン	名 称	働 き
	オートドア 開ボタン	オートドア閉中（閉まりきる前まで）の途中で再度開けるときに使用します。
	オートドア 閉ボタン	暗証番号呼び出し方式では使用しません。
	信号灯作動ボタン	本設備では使用しません。
	ターンテーブル 左回転ボタン	ターンテーブルを左回転させるときに使用します。
	ターンテーブル 停止ボタン	回転中のターンテーブルを任意の位置で停止させるときに使用します。
	ターンテーブル 右回転ボタン	ターンテーブルを右回転させるときに使用します。

⚠ 注意

押ボタン操作は、ゆっくりと確実に行って下さい。

特に番号操作は、あまり早すぎると正確に入力されないことがあります。

表示を確認して不正の場合、【C】キーを押して再操作して下さい。

2.4.3 キースイッチ操作部

操作キー	名 称	働 き
<div data-bbox="175 498 303 639" data-label="Image"> </div>	暗証番号呼出用 キースイッチ	<p>暗証番号を入力するときに、必ず〈入〉としてください。</p> <p>専用キーは〈入〉の状態では抜けません。必ず〈切〉にしてから抜いてください。入出庫完了後に〈切〉にすると、オートドアが閉じます。</p> <p>パーキングの運転中は、絶対に〈切〉にしないでください。</p>

3

安 全

3.1	契約利用者の心得	3-1
3.1.1	安全確保	3-1
3.1.2	取扱方法の遵守	3-2
3.1.3	パーキング利用上の注意	3-3
3.2	災害などの非常事態の対処	3-4
3.2.1	地震発生時の対処	3-4
3.2.2	火災発生時の対処	3-4
3.2.3	浸水時の対処	3-4
3.3	乗込口に閉じ込められることのないために ...	3-5
3.3.1	人身事故の防止	3-5

3.1 契約利用者の心得

契約利用者は、安全確保と機械・設備を維持管理するため、以下の事項を必ず守ってください。

3.1.1 安全確保

- パーキングを運転するときやオートドアを閉じるときは、乗込口の無人を目視で確認すること

⚠危険

必ず、乗込口に人がいないことや障害物がないことを目視で確認してください。
機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

- 契約利用者以外の人が乗込口に入室しないこと

⚠警告

契約利用者以外の人が入室すると、乗込口の安全確認がむずかしくなり、同乗者がいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。
オートドアの前で停止し、同乗者を降車させてください。

- 乗込口では、荷物の積降し、車の整備、洗車などをしないこと

⚠警告

乗込口内は足場が悪いため、乗込口で荷物を積んだり降ろしたりしないでください。転倒などによるけがや、ドアの閉め忘れ、荷物の置き忘れにつながる恐れがあります。
また、整備や洗車を行なうと、工具の置き忘れや機械の故障につながる恐れがあります。

- 地震、火災などの非常事態が発生したときは、速やかに避難すること

⚠危険

乗込口に人がいるときに地震や火災などが発生すると、転んだり設備と接触して、けがをする恐れがあります。特に火災の発生時には、消火装置が起動すると、オートドアが閉まり、不燃性ガスを噴出するため、窒息死につながる恐れがあります。
オートドアが閉じてしまったときは、非常口から避難してください。

- 乗込口への入出庫時は、徐行運転をすること

⚠危険

入出庫時は必ず徐行運転をしてください。
徐行運転をしないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。
入庫車をオートドアの前で停止し、誤発進ないようにサイドブレーキを完全にかけてください。

⚠注意

本パーキングは前進入庫専用駐車場です。
後退で入庫しないでください。後退で入庫すると正規に停車できず、事故が発生する恐れがあります。

3.1.2 取扱方法の遵守

- 異常事態が発生したときは、非常停止ボタンを押して機械を停止させること

機械の異常や事故が発生したときは速やかに、非常停止ボタンを押して、機械を緊急停止させてください。また、速やかに管理責任者、またはサービスセンタへ連絡してください。

- 入庫可能車以外の車を入庫しないこと

⚠注意

入庫可能なサイズ、重量を超えている車を絶対に入庫しないでください。
トレーからはみ出しにより、パーキングを運転することができなくなります。
また、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

- 操作手順にしたがって操作すること

⚠注意

契約利用者は個別の管理責任を持つことになります。本書を熟読して操作してください。
間違った操作を行なうと、機械の運転が停止したり、設備を破損する恐れがあります。
また、人が機械と接触してけがをする恐れがあります。

- パーキングの運転中は操作盤から離れないこと

⚠警告

パーキングの運転が終了するまでは操作盤から離れないでください。
異常、非常事態が発生したときに緊急停止させることができないため、大きな事故につながる恐れがあります。

- 操作盤に水・雪・油のかからないようにすること、また周囲に腐食性ガス・可燃性ガスが無いこと

⚠注意

操作盤に水・雪・油がかかったり、腐食性ガス、可燃性ガスがあると故障となる恐れがあり、パーキングの運転が出来なくなる恐れがあります。

3.1.3 パーキング利用上の注意

- 車検証で入庫可能サイズ、重量であることを確認すること

注意

契約時および車の買い替え時は、車検証の車両重量・車高・車長・車幅を見て、入庫可能車であることを確認してください。

入庫可能サイズ、重量については、4章の「入庫の条件」を参照してください。

- パーキング専用キーの取り扱いについて

注意

- ・専用キーを汚したり、傷つけたり、折り曲げたりすると使用できなくなります。
大切に保管してください。
- ・専用キーはご自身で使用してください。
他人に貸与すると、トラブルにつながる恐れがあります。
- ・キーホルダーで車のキーと同一に保管はできません。

3.2 災害などの非常事態の対処

火災・地震・浸水などの非常事態が発生したときは、以下の手順で速やかに対処し、管理責任者、またはサービスセンタへ状況を連絡して、その指示にしたがってください。

警告

2次災害の恐れがあるため、運転操作はご遠慮ください。

3.2.1 地震発生時の対処

1. 非常停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. 乗込口に人がいるときは、乗込口から避難させます。

3.2.2 火災発生時の対処

1. 非常停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. 乗込口に人がいるときは、乗込口から避難させます。

危険

オートドアが閉じてしまったときは、非常口から避難してください。

そのまま乗込口にいますと、不燃性ガスにより窒息死する恐れがあります。

3. 乗込口で入出庫中の車は、速やかにパーキング外へ移動させます。
4. 消火設備の取扱いにしたがって、消火活動を行ないます。
5. 鎮火確認後は、庫内の換気を十分に行ない、不燃性ガスを排出させます。

危険

庫内の換気を行わずに、非常口を開けたり、操作電源等の復旧を行なうと、不燃性ガスの漏出の恐れがあり、窒息死する恐れがあります。

3.2.3 浸水時の対処

1. 非常停止ボタンを押して、パーキングの運転を停止させます。
2. サービスセンタへ連絡し、指示を受けます。

3.3 乗込口に閉じ込められることのないために

乗込口内に人が残っている状態でオートドアを閉じることは非常に危険です。重大な事故につながります。以下の事項に充分ご注意ください。

3.3.1 人身事故の防止

- パーキングを運転するときやオートドアを閉じるときは、乗込口の無人を目視で確認すること

危険

機種および仕様によっては、オートドア閉完了と同時に、機械が自動的に動く場合もあります。必ず、乗込口に人がいないことを目視で確認してください。機械が人と接触し、人身事故が発生する恐れがあります。

- 契約利用者以外の人乗込口に入室しないこと

警告

契約利用者以外の人が入室すると、乗込口の安全確認がむずかしくなり、同乗者がいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。オートドアの前で停止し、同乗者を降車させてください。

- 入庫後は速やかに乗込口から退出すること

危険

不用意に乗込口にとどまったり、荷物の積降ろしをすることは非常に危険です。次の利用者の操作ミスにより、乗込口内に閉じ込められるなどのトラブルにつながる恐れがあります。

- 乗込口内の壁に設けられた非常停止ボタンの操作方法を確認すること

警告

万一車の外にいてオートドアが閉じてしまったときは、速やかに非常停止ボタンを押し、非常口より外へ退出してください。

- 車の中にいてオートドアが閉じてしまった場合には、絶対に車外に出ないようにし、クラクションを鳴らして外部に知らせること

危険

乗込口および駐車室において機械が運転を開始した後に、利用者が車外へ出ることは非常に危険です。機械との接触等により、人身事故が発生する恐れがあります。

4

入庫の条件

4.1	入庫可能サイズ、重量	4-1
4.1.1	入庫可能な車のサイズと重量	4-1
4.2	入庫車に対する制限	4-4
4.2.1	制限内容	4-4

4.1 入庫可能サイズ、重量

パーキングに入庫するときは、本章を参照して、車が入庫可能な条件を満たしていることを確認してください。

4.1.1 入庫可能な車のサイズと重量

パーキングに入庫可能な車のサイズ、重量は以下のとおりです。

重量は、車両重量にオプションの重量、および積み荷の重量を加えたものです。

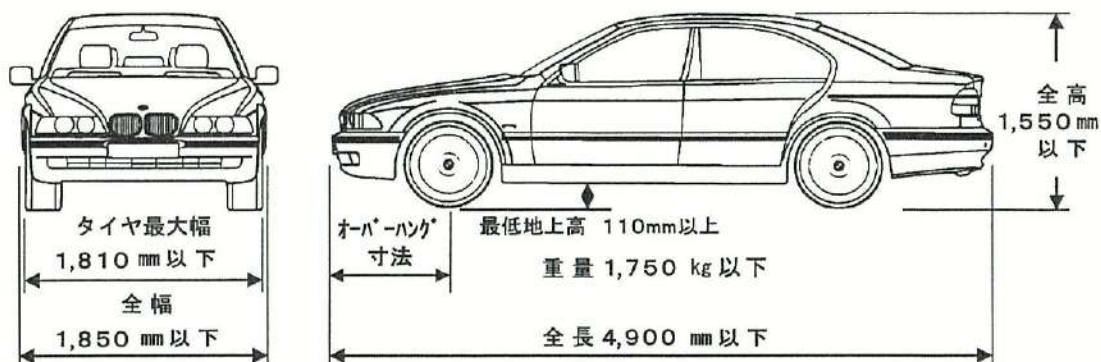
車両重量・車高・タイヤ幅・車長・車幅は車検証を参考にしてください。

⚠ 警告

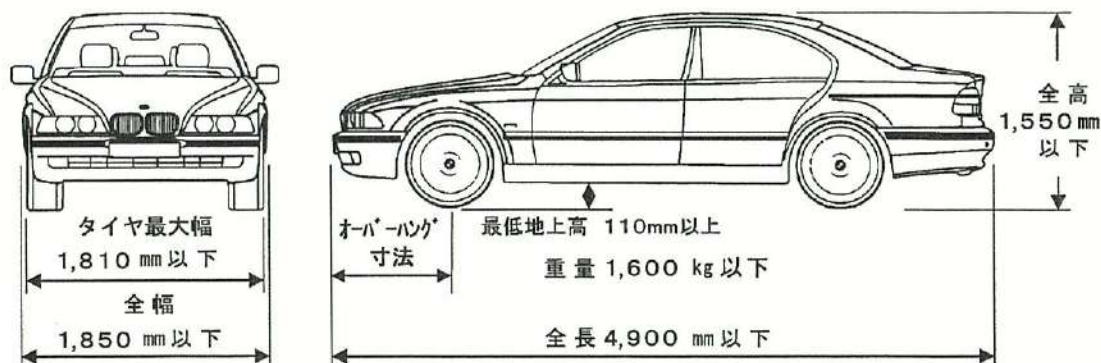
入庫可能なサイズ・重量を超える車、トラック、軽トラック、二輪車、トレーラ、トラクタ、事故車は絶対に入庫しないでください。

パーキングを運転することができなくなったり、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

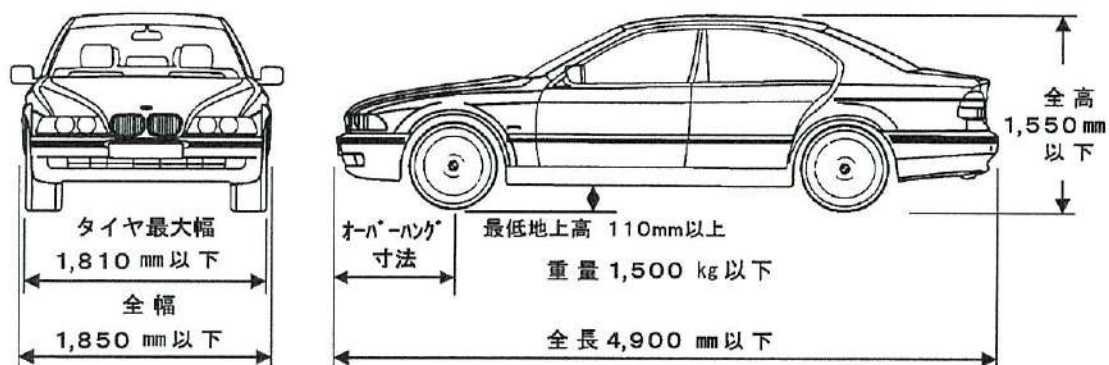
〈トレーNo.1・15〉



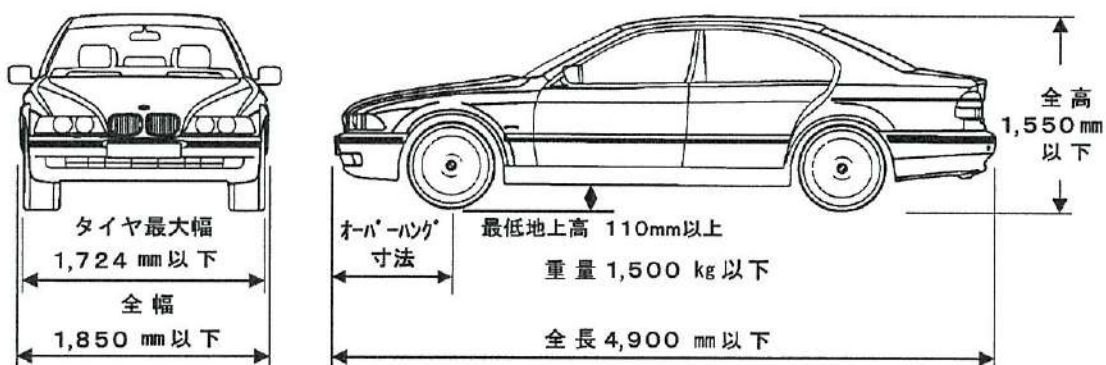
〈トレーNo.2・3・16・17〉



〈トレーNo.4・5・18・19〉



〈上記トレー以外〉



⚠ 注意

車検証やカタログに記載されている高さ寸法は、道路運送車両法 保安基準 一定範囲で±40mmの余裕を認めており、車検証の表示寸法が制限内であっても、実際にはオーバーしていることがあります。実寸でオーバーしている車は入庫出来ません。

⚠ 注意

車の全寸法が制限以内でも、タイヤ最大幅がトレーの車路幅を超えているために入庫できない車種があります。

入庫前或いは、車種変更の場合は必ず事前に確認し、制限寸法を超える車は入庫させないようにご注意ください。

タイヤ最大幅は、最大トレッド幅(輪距)とタイヤ本分を加えた寸法で、空気圧による誤差などは考慮しておりません。

⚠ 注意

タイヤ幅・最低地上高にご注意ください。

タイヤがパンクしたり、ホイールを傷つけたり、車両底部が接触する恐れ、フロントバンパーなどが損傷する恐れがあります。

補 足

入庫可能サイズ内でも、フロントオーバーハング寸法が長い車は、タイヤが車止めに納まっている位置に停止させても、ボディがトレーから突出する恐れがあります。

ボディがトレーからはみ出す車は入庫できません。

4.2 入庫車に対する制限

車が入庫可能な車種（型式）であっても、改造や突起物などにより、サイズ・重量を超えることがあります。以下の事項に注意して、入庫が可能であるかを判断してください。

入庫が不可能と判断したときは、突起物などを取り外すか、入庫しないでください。

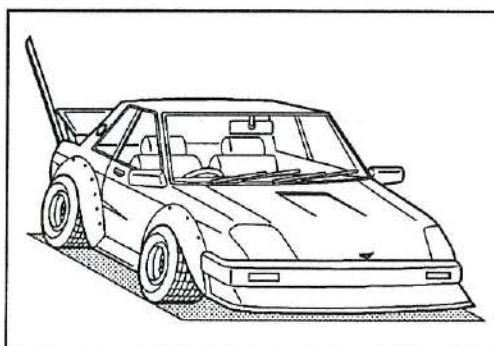
4.2.1 制限内容

■ 市販仕様変更車・改造車

仕様変更・改造により、全高・全長・全幅・重量が入庫可能サイズ、重量を超えることがあります。また、車高を下けている車は、トレーの床面に接触する恐れがあります。

⚠注意

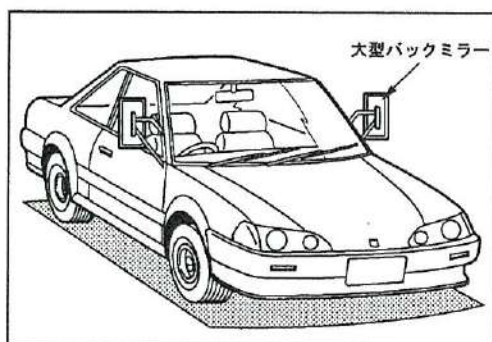
スポーツタイプ車は地上最低高さ（車下面）が一般に低く、入庫時に車下面をトレーにこする場合があります。ゆっくり徐行し、入庫してください。



■ ドアミラー／フェンダーミラー

全幅、タイヤ外幅が入庫可能なサイズ内でも、ドアミラーやフェンダーミラーがトレーからはみ出す恐れがあります。

ドアミラーを折りたたんで入庫してください。



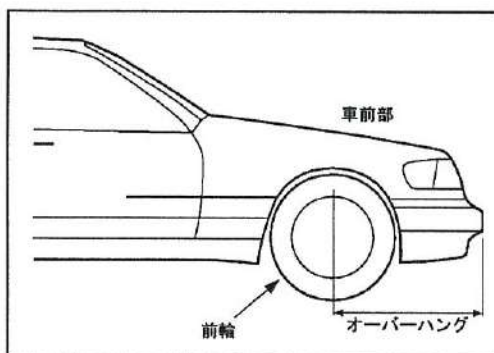
■ フロントオーバーハング寸法

入庫可能サイズ内でも、オーバーハング寸法が長い車は、タイヤが車止めに接する位置に停止させても、ボディがトレーからはみ出す恐れがあります。

ボディがトレーからはみ出す車は入庫できません。

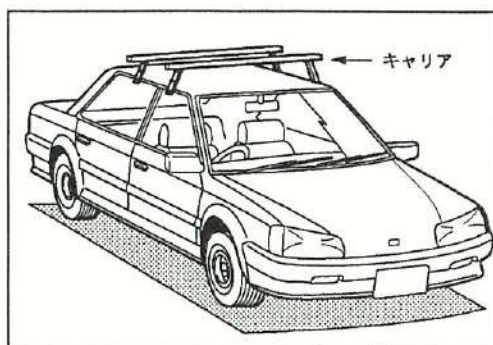
⚠注意

アニマルガードバンパー等のフロントガード装着車などは、フロントオーバーハング寸法が長いので、タイヤが車止めに納まっても前のバンパーがトレーからはみ出すため入庫できません。



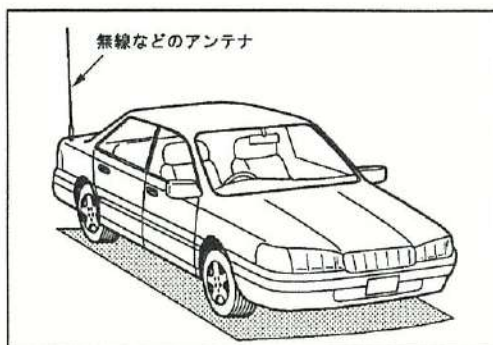
■ キャリア／突起物

キャリアやタクシーの防犯灯、大型バンパープロテクタなどの突起物がある車は、入庫状態によってパーキングの運転中に、機械と接触する恐れがあります。取り外すか、入庫しないでください。キャリアや突起物を含めたサイズ、重量が、制限以内であれば、入庫することができます。



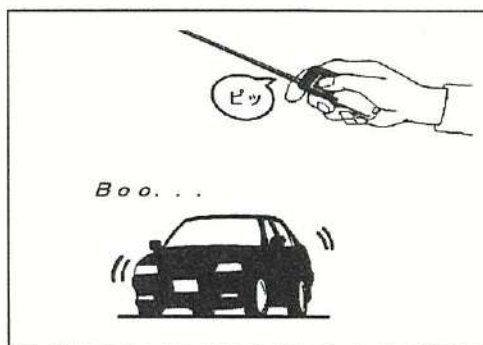
■ 無線・自動車電話などのアンテナ

機械と接触してアンテナが折れたり、事故につながる恐れがあります。アンテナを下げるか、取り外すようにしてください。



■ リモコン操作対応車

リモコンエンジンスターター、ドア・トランク開、ロック施錠／解除、ドアミラー開閉などを行える車は、リモコン操作は必ず車が庫外にあるときか、庫内にあってもオートドアが開いているときに行ってください。入庫後は、エンジンは切り、トランクは閉じ、ドアロックは施錠し、ドアミラーは折たたんでください。



⚠ 注意

リモコンを誤って操作すると、機械運転中に車が動いたり、トランクやドアミラーが飛び出して、車や機械を破損させる恐れがあります。

⚠ 警告

リモコンエンジンスターターは、MT車には取付できません。暴走する危険性がありますので、絶対に使用しないでください。また、リモコンエンジンスターターを装着する場合は、その取扱説明書をお読みください。

■ 盗難防止装置搭載

格納された車両は前後・左右方向へ移動するため、車両に振動を伝達します。振動・傾きの変化を検出して警報する装置を搭載した車両を格納する場合は、盗難制御装置が作動し、バッテリーあがりを起こす恐れがありますので、システムを解除するか、車両が揺れても警報しないモードへの切り替えを行ってください。

5

入 庫 方 法

5.1	入庫方法の概要	5-1
5.1.1	入庫手順	5-1
5.2	入庫前の確認	5-2
5.2.1	確認事項	5-2
5.3	トレーの呼び出し	5-4
5.3.1	暗証番号呼び出し	5-4
5.4	乗込口への進入	5-6
5.4.1	進入手順	5-6
5.5	入庫後の確認	5-7
5.5.1	確認事項	5-7
5.6	入庫の完了	5-9
5.6.1	暗証番号呼び出しの入庫完了	5-9
5.6.2	専用キー取り扱い上の注意	5-10
5.7	音声案内注意放送	5-11
5.7.1	音声案内注意放送の種類と内容	5-11

5.1 入庫方法の概要

以下の入庫手順にしたがって、車をパーキングに入庫してください。

5.1.1 入庫手順

入庫前の確認



車を乗込口へ進入する前に、オートドアの前で一旦停止します。
車が入庫可能であることを確認し、入庫する準備などを行います。
詳細は、5.2「入庫前の確認」を参照してください。

トレーの呼び出し



車を入庫するトレーを呼び出します。
パーキングの運転が開始され、呼び出したトレーが駐車室から乗込口に搬送されます。
詳細は、5.3「トレーの呼び出し」を参照してください。

乗込口への進入



車を乗込口に進入させて、トレー上の停車位置に停止します。
詳細は、5.4「乗込口への進入」を参照してください。

入庫後の確認



車をトレー上に停止した後、トレーを駐車室に搬送しても問題がないことなどを確認します。
詳細は、5.5「入庫後の確認」を参照してください。

入庫の完了

オートドアを閉じます。
詳細は、5.6「入庫の完了」を参照してください。

5.2 入庫前の確認

車を乗込口へ進入する前に、オートドアの前で一旦停止し、以下の事項を確認してください。

5.2.1 確認事項

1. 4章の「入庫の条件」を参照して、車が入庫可能車であることを確認します。

車のサイズ、重量が不明なときは、車検証を参考にしてください。

また、入庫可能サイズ、重量（積み荷等を含む）を超えているときは、入庫しないでください。

⚠注意

入庫可能なサイズ、重量を超えている車を絶対に入庫しないでください。

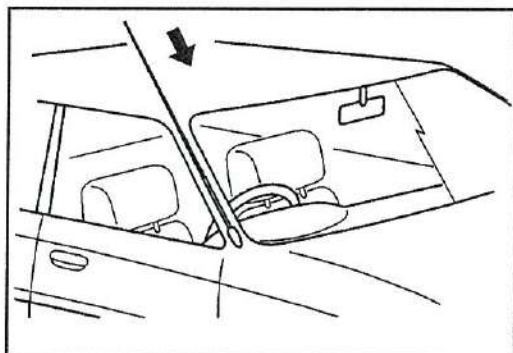
トレーからはみ出しにより、パーキングを運転することができなくなります。また、機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

2. アンテナが下がっていること。

⚠注意

アンテナを上げたまま乗込口へ進入すると、アンテナが入庫車高さ制限板に接触し、パーキングを運転することができなくなります。

また、機械と接触して損傷するなどのトラブルにつながる恐れがあります。



3. 同乗者がいるときは、降車させること。

⚠警告

契約利用者以外の方が、乗込口に入らないようにしてください。

同乗者を乗込口で降車させると、安全の確認がむずかしくなり、同乗者が乗込口にいるのにオートドアを閉めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。

4. 荷物を降ろす必要があるときは、入庫前に降ろすこと。

⚠警告

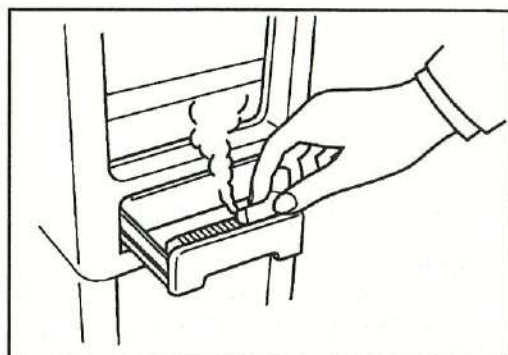
乗込口は足場が悪いため、乗込口で荷物を降ろすと転倒などによるけがや、ドアの閉め忘れ、荷物の置き忘れにつながる恐れがあります。

また、後部ドアを開けるとドアプロテクタフェンスと接触し、車を傷つけますので後部ドアを開けないでください。

5. タバコを吸っているときは、火を完全に消すこと。

⚠ 危険

パーキング内は車とともに多量の高ソリンが持ちこまれているため、タバコの火の消し忘れは、火災の発生につながる恐れがあります。

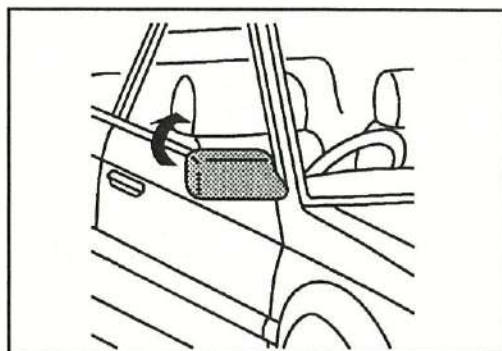


6. 車に雪が積もっているときは、雪を落とすこと。

⚠ 注意

雪が積もったまま入庫すると、パーキング内で雪が解け、機械や設備の錆の原因となります。また、パーキングの運転中に雪が車から落ち、パーキングの制御装置が誤検知し、パーキングの運転が停止する恐れがあります。

7. ドアミラーを折りたたむこと。



8. 入庫後は、速やかに乗込口から退室すること。

5.3 トレーの呼び出し

5.3.1 暗証番号呼び出し

本パーキングは、パーキング専用キーで操作できます。

専用キーの取り扱いについては、注意事項にしたがって維持管理してください。

1. オートドアが閉まっていることを確認します。

オートドアが開いているときは、乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認後、専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉めてください。

⚠危険

オートドアを閉めるときは、必ず目視で乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認してください。機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

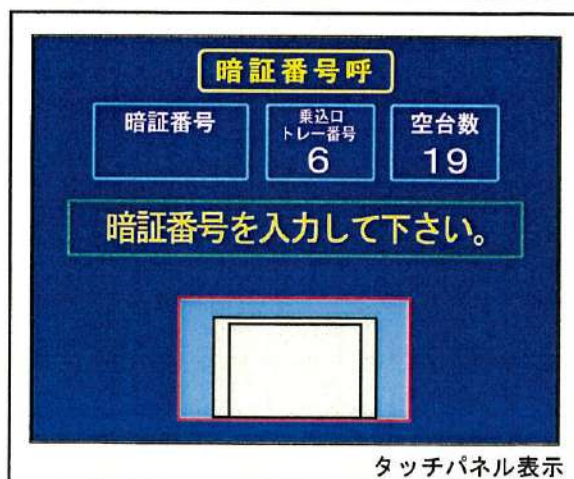
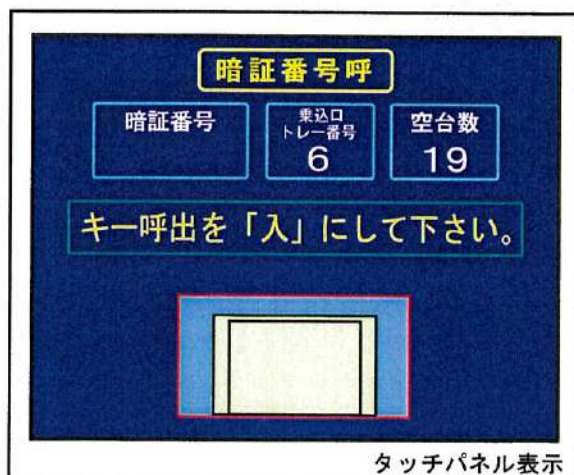
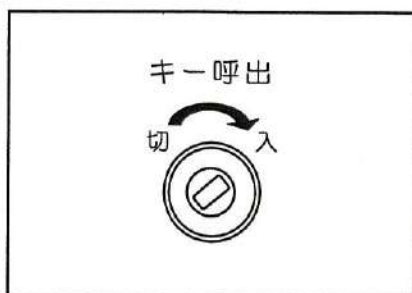
⚠注意

オートドアが開いているときに、操作無しに直接入庫しないでください。

オートドア閉後、呼び出し不能となります。

2. 専用キーを挿入し、〈入〉にします。

「暗証番号を入力して下さい。」が表示します。



3. 4桁の暗証番号をゆっくり確実に
入力します。

暗証番号

に入力した暗証番号が表示されます。

4. 入力した暗証番号が正しく表示さ
れていることを確認します。

5. 【呼出】を押します。

パーキングの運転が開始されます。

暗証番号を間違えて入力すると、

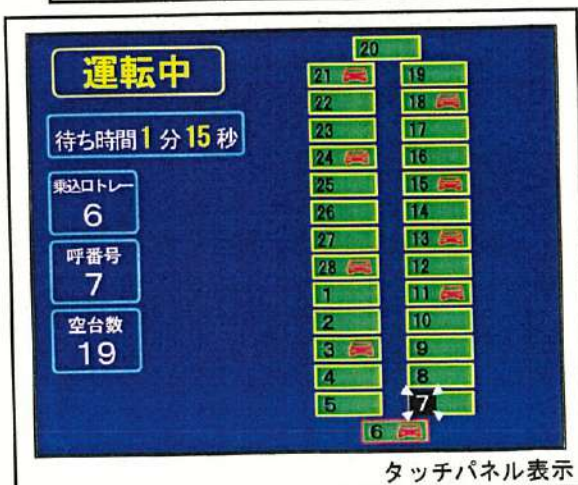
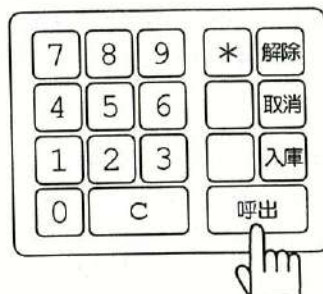
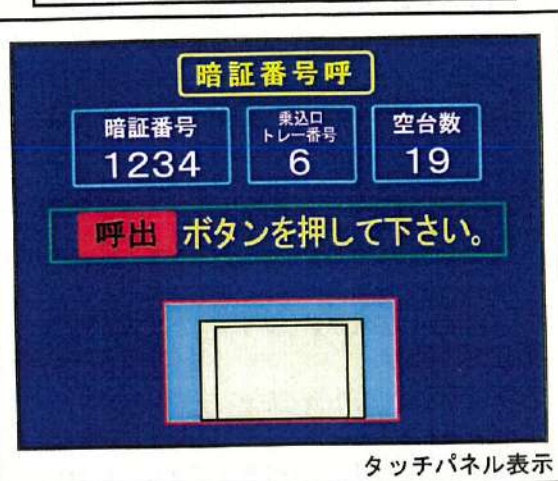
入力された暗証番号が違います。と

表示します。

補 足

運転が開始されると、タッチパネル部に乗込口に最も近い空きトレイ番号が点滅し、およその待ち時間が表示されます。

空きトレイが乗込口に着床すると点滅は終わり、オートドアが開きます。



5.4 乗込口への進入

5.4.1 進入手順

1. 入庫案内鏡を見ながら、前進徐行運転で進入します。

乗込口へ進入すると、自動車位置案内灯の「前進」が点灯します。

⚠危険

乗込口に進入するときは、必ず徐行運転をしてください。徐行運転をしないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。また、トレー内に停車することができず、衝突する恐れがあります。場合によっては車床下面をトレーにぶつける恐れもあります。トレーの中央にまっすぐ向くように進入してください。

⚠注意

進入中にハンドルを大きく切ったり、トレーの中央からずれて進入すると、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

⚠注意

後退で入庫しないでください。

後退で入庫するときに入庫案内鏡や自動車位置案内灯が見えにくくなり、正規に停車させることが難しくなります。

また、トレーの中央からずれて進入してしまうことになり、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

2. さらに車を前進させます。

車の前後左右がトレーからはみ出していない位置まで前進すると、自動車位置案内灯の「サイドブレーキを引きドアを完全に閉めて庫外に出て下さい。」が点灯します。

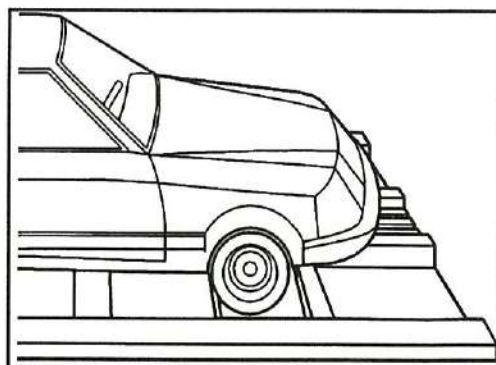
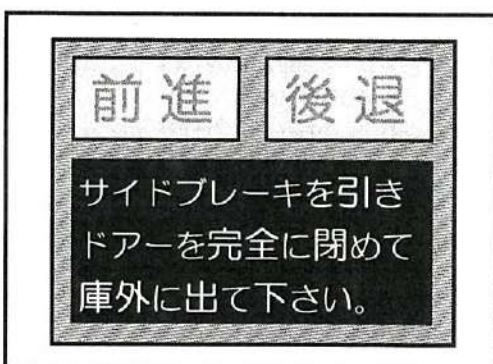
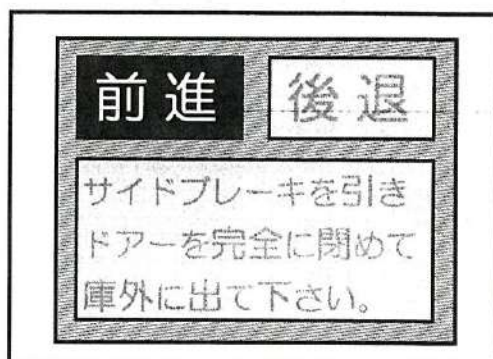
同時に、スピーカーからの音声案内により、注意事項が放送されます。(5-11 ページ参照)

自動車位置案内灯の「後退」が点灯したときは、車をバックさせてください。

⚠注意

車止めより前に停止しないでください。パーキングの運転中に機械と接触して、事故が発生する恐れがあります。

3. トレー上の正規停止位置で車を停止させます。



5.5 入庫後の確認

車をトレー上に停止した後、以下の事項を確認します。

5.5.1 確認事項

1. 車の前後左右がトレーからはみ出していないこと。

補 足

自動車位置案内灯の表示が「サイドブレーキを引きドアを完全に閉めて庫外に出て下さい。」になっている場合、車の前後左右がトレーよりはみ出していることがあります。必ず目視にて車の停止位置を確認してください。

2. シフトレバーをAT車はPレンジに、MT車はローまたはバックに入れてください。パーキングブレーキ（自動車によって名称や方式が異なる場合があります。自動車の取扱説明書にてご確認願います。）を完全にかけること。

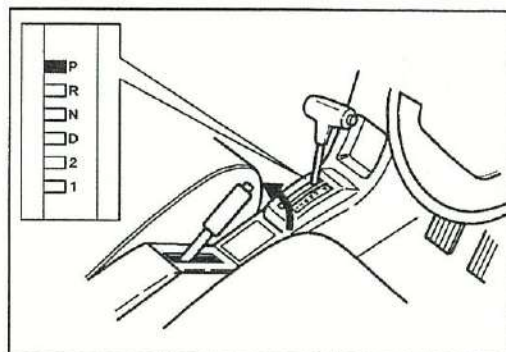
⚠ 警告

パーキングブレーキのききめが充分でないときにギヤをローまたはバック（AT車の場合はPレンジ）に入れておかないと、運転中の振動で車が停止した位置からずれ、機械と接触して機械や車が損傷する恐れがあります。

3. エンジンが停止していること。

⚠ 危険

エンジンをかけたまま駐車すると、排気ガスがパーキング内に充満し、一酸化炭素中毒や加熱火災が発生する恐れがあります。



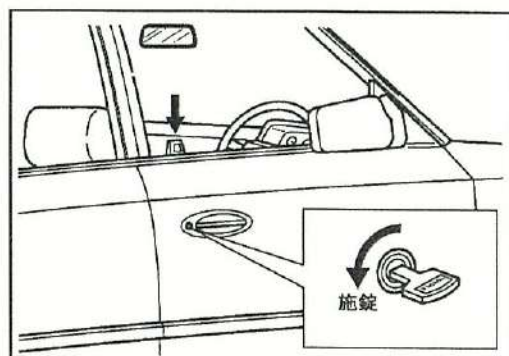
4. すべてのドアを確実に閉め、ドアをロックすること。

トランクやボンネットなどが開いている状態を検知することができないため、ドアロックの確認とあわせてトランクなどが開いていないことを確認してください。

⚠ 注意

ドアが開いているためにドアプロテクタが起き上がらないときは、パーキングを運転することはできません。

また、パーキングの運転中にドアが開くと、ドアプロテクタに接触して、ドアおよびドアプロテクタが損傷する恐れがあります。



5. 車内に同乗者や動物が置き去りにされていないこと。

⚠ 危険

同乗者や動物を置き去りにすると、入庫車とともに駐車室に運ばれ、火災や事故、その他の要因で死亡・重傷に至る恐れがあります。

6. 車のルーフやボンネット上、および車の陰に荷物の置き忘れがないこと。

⚠ 注意

乗込口に荷物を置き忘れたままにすると、光電装置が障害物として検知し、パーキングの運転ができなくなる恐れがあります。

7. すべての事項が確認されたら、速やかに乗込口から退室してください。

乗込口から退室するとき、ドアプロテクタを踏んだりしないようにしてください。

⚠ 注意

ドアプロテクタなどの安全装置を踏んだり、ぶつかったりすると、パーキングを運転することができなくなり、故障の原因となります。

つまずいて転倒し、けがをすることがあるため、充分注意して退室してください。

8. 退室後、乗込口に人がいないこと、障害物がないことを再確認します。

⚠ 危険

必ず目視で乗込口に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。

パーキングの運転中、機械が人や障害物と接触して、事故が発生する恐れがあります。

5.6 入庫の完了

5.6.1 暗証番号呼び出しの入庫完了

1. 専用キーを〈切〉にします。

オートドアが閉まり、ブザーが作動します。

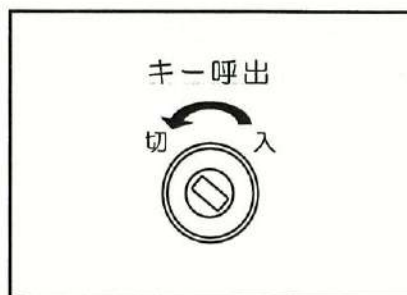
⚠危険

オートドアが閉まる途中に、人が乗込口へ入らないようにしてください。

機械が人と接触し、事故が発生する恐れがあります。

⚠注意

タッチパネル部の **安全確認** が点滅しているときは、オートドアが閉まりません。人が庫内にいるかまたは障害物が庫内にあります。庫内に人がいなく、障害物もない場合は一番手前の光電管を1回遮ってください。



2. オートドアが完全に閉まったことを確認します。

⚠注意

オートドアが閉まる途中または閉まりきったときに、乗込口内の人や障害物の検知あるいは、その他の安全装置が作動すると、再度オートドアが開きます。このような場合には、8章の「運転不能時の対処」を参考に、その原因を取り除き、再度専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉じてください。

3. 専用キーを抜き取ります。

専用キーを忘れないようにしてください。

5.6.2 専用キー取り扱い上の注意

1. 専用キーは〈入〉の状態では抜けません。

無理やり抜くとキースイッチが破損します。必ず〈切〉にしてから抜いてください。

2. 専用キーの複製は止めてください。

複製キーを使用するとキースイッチの摩耗破損の原因となりパーキングの故障につながります。

専用キーの再取得は、弊社サービスセンターか管理責任者へご相談ください。



5.7 音声案内注意放送

乗込口における安全の確認、及び入庫不良等の案内放送のために音声注意放送が設備されています。

5.7.1 音声案内注意放送の種類と内容

1. 自動車がトレーに乗り込み、正規の位置にて停止したとき。

「セクターはパーキングに入れてください。またはギヤはバックに入れ、パーキングブレーキを完全にかけてください。車のドア・トランクは確実に閉め、必ずエンジンを停止させてください。アンテナを下げてください。もう一度お確かめください。」

2. 自動車出庫完了後、次の操作をせずに、連続して入庫しようとした場合。

「入庫できません。オートドアを閉じ、再呼び出ししてください。」

3. 入出庫後、運転者が庫外へ出たときのオートドア閉操作を行うとき。

「庫内の安全を確かめて、オートドアを閉じてください。」

4. 暗証番号を3回連続して誤入力した場合。

「お客様の個別番号は登録されていません。もう一度お確かめください。」

5. 車の半ドアを検出した場合。

「車のドアが開いています。閉めてください。」

6. 異常が発生した場合。

「異常です。係員か、サービスセンタにご連絡ください。」

7. パーキングの入庫運転が開始されたとき。

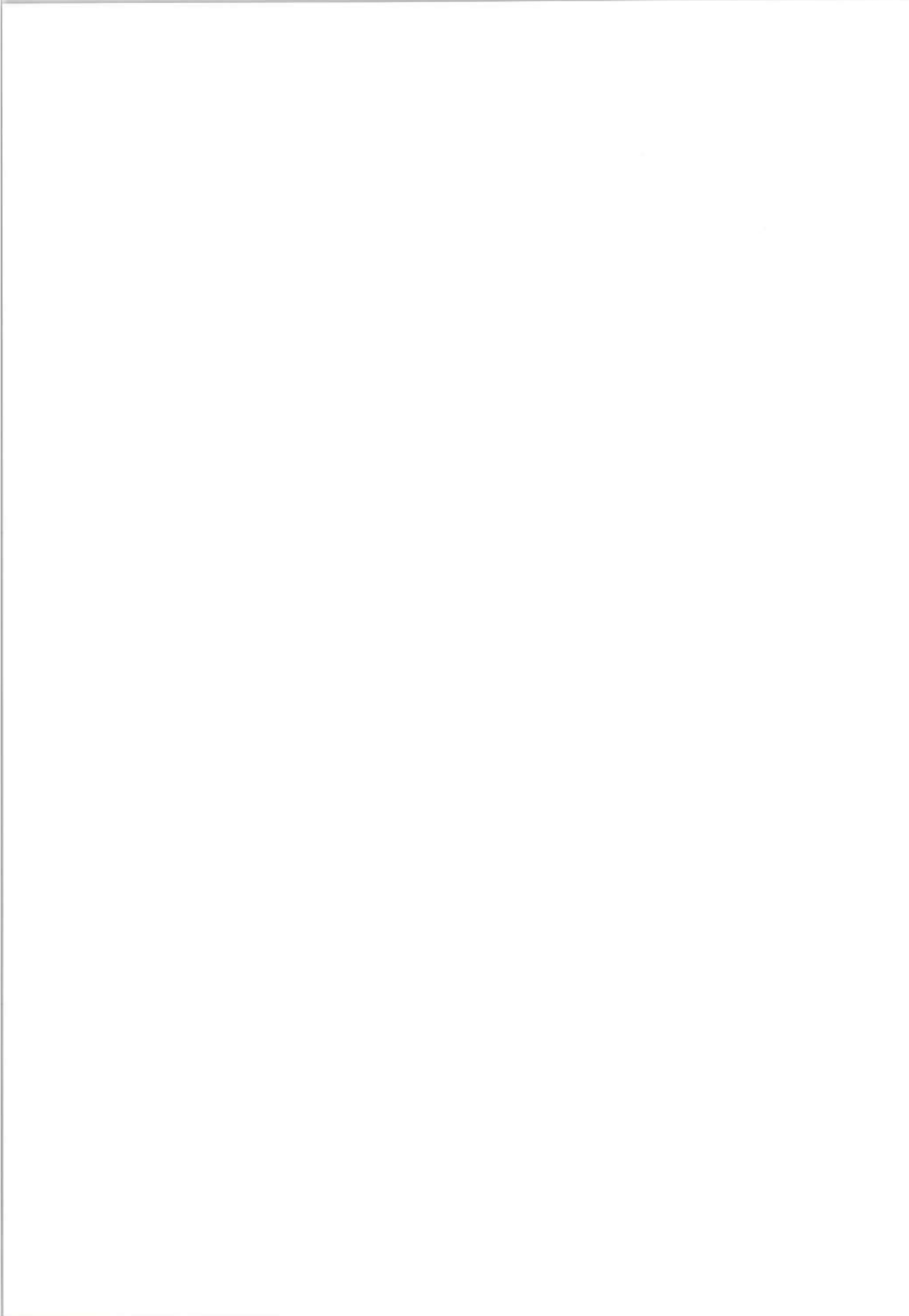
「入庫の前に同乗者の方は降りてください。荷物は降ろしてください。お車の大きさをお確かめください。アンテナを下げ、ドアミラーをたたんでください。オートドアが開いたら、前進でゆっくりお入りください。」

8. 車の入出庫完了後、人が長時間乗込口内にいる場合。

「入出庫完了後、速やかに外に出てください。」

9. オートドアが閉まる途中に、乗込口内の人や障害物を検出した場合。

「お車の位置をお確かめください。前後左右飛び出していませんか。」



6

出 庫 方 法

6.1	出庫方法の概要	6-1
6.1.1	出庫手順	6-1
6.2	トレーの呼び出し	6-2
6.2.1	暗証番号呼び出し	6-2
6.3	パーキング外への退出	6-4
6.3.1	退出手順	6-4
6.4	車の方向変換	6-5
6.4.1	ターンテーブルの操作	6-5
6.5	出庫の完了	6-6
6.5.1	暗証番号呼び出しの出庫完了	6-6

6.1 出庫方法の概要

以下の出庫手順にしたがって、パーキングから出庫してください。

6.1.1 出庫手順

トレーの呼び出し



車を出庫するトレーを呼び出します。
パーキングの運転が開始され、呼び出したトレーが駐車室から乗込口に搬送されます。
詳細は、6.2「トレーの呼び出し」を参照してください。

パーキング外への退出



車を乗込口からターンテーブル上に移動します。
詳細は、6.3「パーキング外への退出」を参照してください。

車の方向変換



ターンテーブルを作動させて、車を方向変換させます。
詳細は、6.4「車の方向変換」を参照してください。

出庫の完了

オートドアを閉じます。
詳細は、6.5「出庫の完了」を参照してください。

6.2 トレーの呼び出し

6.2.1 暗証番号呼び出し

本パーキングは、パーキング専用キーで操作できます。

専用キーの取り扱いについては、注意事項にしたがって維持管理してください。

1. オートドアが閉まっていることを確認します。

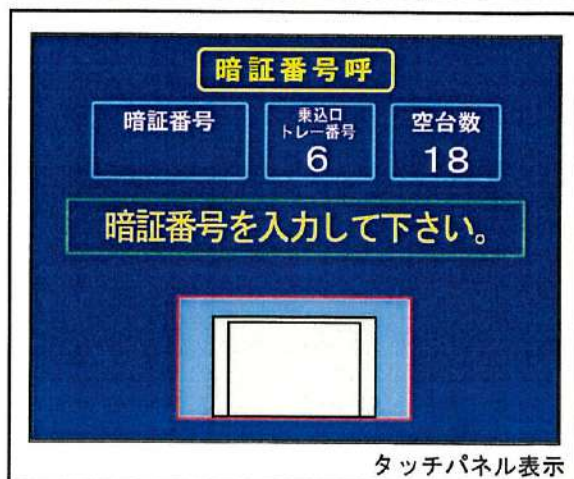
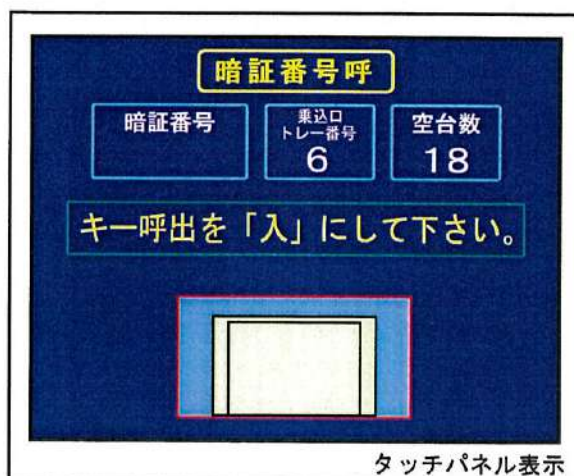
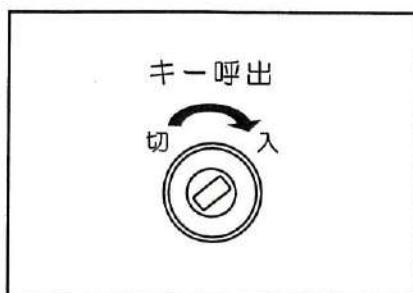
オートドアが開いているときは、乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認後、専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉めてください。

⚠危険

オートドアを閉めるときは、必ず目視で乗込口に人がいないことや障害物がないことを確認してください。機械が人や障害物と接触し、事故が発生する恐れがあります。

2. 専用キーを挿入し、〈入〉にします。

「暗証番号を入力して下さい。」が表示します。



3. 4桁の暗証番号をゆっくり確実に
入力します。

暗証番号

に入力した暗証番号が表示されます。

4. 入力した暗証番号が正しく表示さ
れていることを確認します。

5. 【呼出】を押します。

パーキングの運転が開始されます。

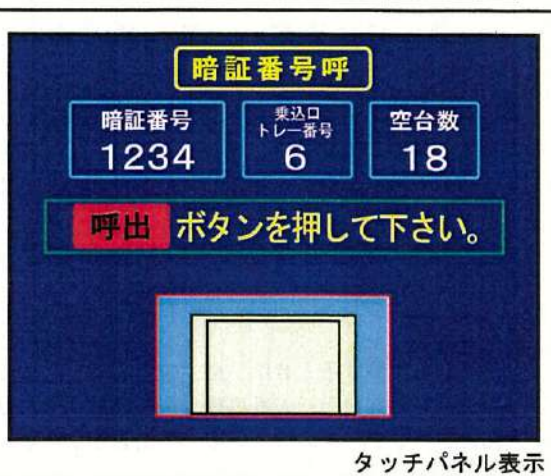
暗証番号を間違えて入力すると、

入力された暗証番号が違います。と
表示します。

補 足

運転が開始されると、タッチパネル部に呼び出すト
レー番号が点滅し、おおよその待ち時間が表示され
ます。

呼び出しトレーが乗込口に着床すると点滅は終わり、
オートドアが開きます。



タッチパネル表示



タッチパネル表示

6.3 パーキング外への退出

車を乗込口からターンテーブル上へ移動してください。

6.3.1 退出手順

1. オートドア及びターンテーブルの付近に、人や障害物がないことを確認します。

2. 乗込口に入室し、車に乗り込みます。

⚠危険

契約利用者以外の人を入室させないでください。

同乗者が乗込口にいたり、オートドアを閉めて閉じ込めてしまうなどのトラブルにつながる恐れがあります。同乗者は、車を外へ移動した後に乗車させるようにしてください。

3. 徐行運転で乗込口から出庫します。

ハンドルを切らずに、まっすぐ出庫してください。

⚠危険

乗込口から出庫するときは、必ず徐行運転をしてください。

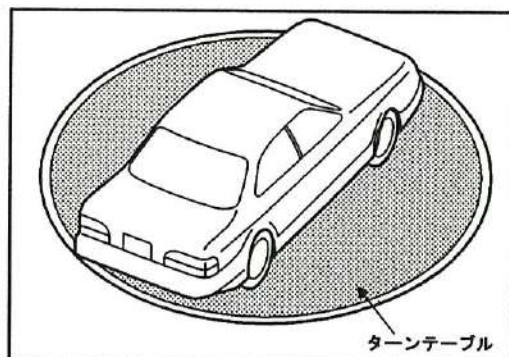
徐行運転をしないと、人身事故や衝突事故につながる恐れがあります。

また、ターンテーブル内に停車することができず、衝突する恐れがあります。

⚠注意

出庫中にハンドルを大きく切ると、トレーの縁に乗り上げて、車や設備を損傷する恐れがあります。

4. ターンテーブルの中央に車を停止させます。



5. すべてのタイヤがターンテーブル上に載っていることを確認します。

⚠注意

タイヤがターンテーブルからはみ出しているときは、はみ出さない位置に停止させてください。

タイヤがはみ出したままターンテーブルを回転させると、車が壁面に接触するなどの事故が発生する恐れがあります。

6.4 車の方向変換

ターンテーブルで車の方向を変換します。

6.4.1 ターンテーブルの操作

専用キーを〈入〉のままでターンテーブルを操作してください。

専用キーを〈切〉にした後では、ターンテーブルの操作はできません。

1. ターンテーブルのまわりに人や障害物がないことを確認します。



警告

必ず、ターンテーブルのまわりに人や障害物がないことを確認してください。

人や障害物が巻き込まれたり、車が損傷するなどのトラブルが発生する恐れがあります。

ターンテーブル回転中は必ずブレーキをかけていることを指示してください。

2. ターンテーブル【左】を押します。

ターンテーブルが回転し、自動的に停止します。

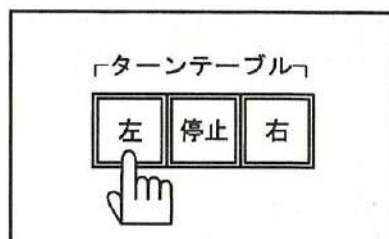
ターンテーブルの回転を途中で停止させるときは、

【停止】を押してください。



注意

回転中のターンテーブルに人が立ち入ったり車が壁面と接触しないように車の動きを確認するなどの危険防止のため、ターンテーブルの回転中は、いつでも【停止】を押して停止させることができるようにしておいてください。



3. ターンテーブルの停止後、同乗者の乗車や積み荷を指示します。

6.5 出庫の完了

6.5.1 暗証番号呼び出しの出庫完了

1. 専用キーを〈切〉にします。

オートドアが閉まり、ブザーが作動します。

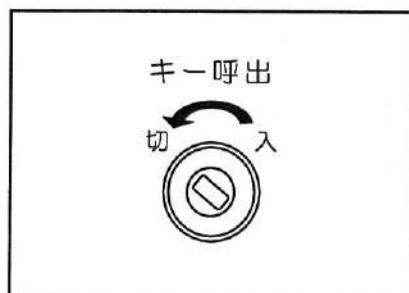
⚠危険

オートドアが閉まる途中に、人が乗込口へ入らないようにしてください。

機械が人と接触し、事故が発生する恐れがあります。

⚠注意

タッチパネル部の **安全確認** が点滅しているときは、オートドアが閉まりません。人が庫内にいるかまたは障害物が庫内にあります。庫内に人がいなく、障害物もない場合は一番手前の光電管を1回遮ってください。



2. オートドアが完全に閉まったことを確認します。

⚠注意

オートドアが閉まる途中または閉まりきったときに、乗込口内の人や障害物の検知あるいは、その他の安全装置が作動すると、再度オートドアが開きます。このような場合には、8章の「運転不能時の対処」を参考に、その原因を取り除き、再度専用キーを〈入〉→〈切〉してオートドアを閉じてください。

3. 専用キーを抜き取ります。

専用キーを忘れないようにしてください。

7

運 転 の 取 消

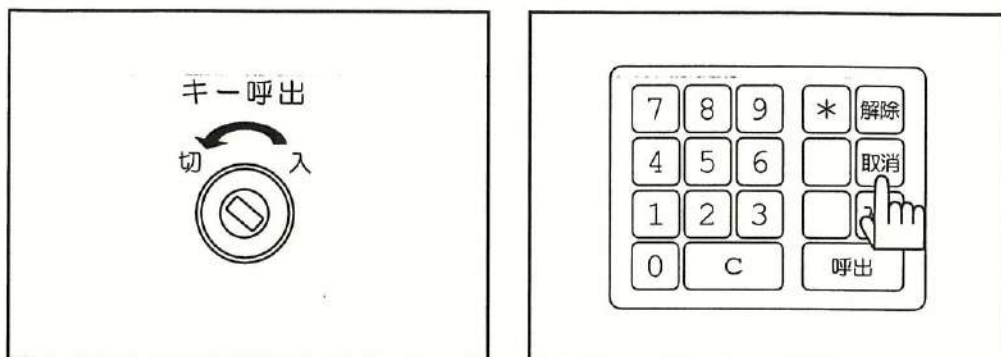
7.1	入出庫運転の取消	7-1
7.1.1	暗証番号呼び出し運転の取消操作	7-1

7.1 入出庫運転の取消

入庫あるいは出庫時の呼出運転を途中で取り止めるときの操作です。

7.1.1 暗証番号呼び出し運転の取消操作

1. 専用キーを〈切〉にします。またはテンキーの【取消】を押します。



2. パーキングが取消を受け付けると、呼出運転が取り消されます。



8

運転不能時の対処

8.1	最初の確認事項	8-1
8.1.1	操作盤の表示の確認	8-1
8.2	異常発生時の運転不能への対処	8-2
8.2.1	対処方法	8-2
8.3	非常停止ボタンを押したときの対処	8-3
8.3.1	対処方法	8-3
8.4	エラー表示への対処	8-4
8.4.1	復旧可能なエラー表示への対処	8-4

8.1 最初の確認事項

パーキングの運転不能時の対処方法には、サービスエンジニアによる復旧が必要な場合と、利用者による復旧が可能な場合とに分かれます。

そのための判断として、操作盤のタッチパネルの表示を必ず確認してください。

8.1.1 操作盤の表示の確認

1. 異常画面が表示されている場合、利用者による復旧は不可能です。速やかにサービスセンタまで連絡してください。

サービスセンタの連絡先は、最終頁に記載されています。

⚠ 注意

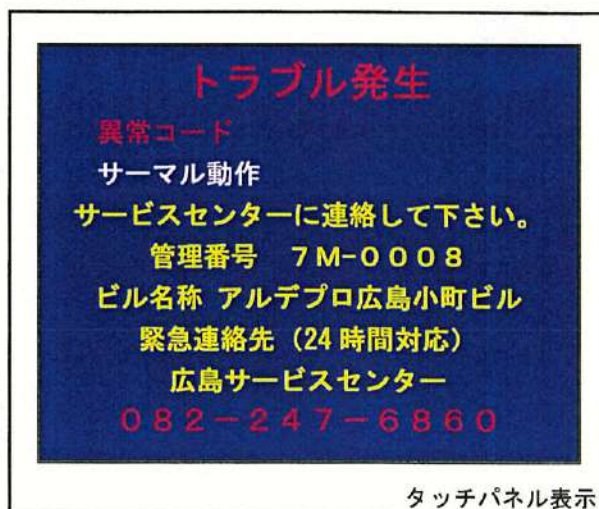
サービスエンジニアが到着するまで、乗込口へ入らないでください。

また、操作盤にも触れないようにしてください。

⚠ 注意

表示されている異常内容を記録してください。

異常や故障の原因解明の役に立ちます。



2. 異常画面が表示していない場合、利用者による復旧が可能です。

8.4.1 「復旧可能なエラー表示への対処」を参照してください。

8.2 異常発生時の運転不能への対処

パーキングの運転中に非常口が開いたり、機械の異常により非常停止したときは、速やかにサービスセンタまで連絡してください。

8.2.1 対処方法

1. トラブル発生が表示されていることを確認します。

2. 速やかにサービスセンタへ連絡します。

！注意

サービスエンジニアが到着するまで、乗込口へ入らないでください。

また、操作盤にも触れないようにしてください。

補 足

異常発生による非常停止のときは、次の音声案内注意放送が流れます。

「異常です。係員か、サービスセンタにご連絡ください。」

トラブル発生

異常コード

サーマル動作

サービスセンタに連絡して下さい。

管理番号 7M-0008

ビル名称 アルデプロ広島小町ビル

緊急連絡先 (24 時間対応)

広島サービスセンタ

082-247-6860

タッチパネル表示

8.3 非常停止ボタンを押したときの対処

操作盤または乗込口に設置されている非常停止ボタンを押すと操作電源が切れ、機械は即時停止します。操作盤タッチパネルに異常表示が表示されていることを確認してください。

8.3.1 対処方法

1. 速やかにサービスセンタへ連絡します。

機械は途中で停止している為、サービス員による復旧が必要となります。

非常停止ボタンを押したときの状況も、合わせて連絡してください。

2. 乗込口やオートドア付近の安全を確認します。

乗込口やオートドアのまわりに人や障害物がないことを目視で確認してください。

⚠ 注意

むやみに操作すると機械の故障につながるため、安易に手を触れないでください。

補 足

非常停止ボタンを押したときは、次の音声案内注意放送が流れます。

「異常です。係員か、サービスセンタにご連絡ください。」

3. 非常停止ボタン操作後の解除。

運転前の状態で不注意に非常停止ボタンを押したときは、非常停止ボタンを元に戻し、電源キースイッチを一旦切って、再度「入」にしてください。電源が復旧します。

異常表示灯を確認してください。消灯していれば通常の運転が可能です。

補 足

非常停止ボタンの戻し方には、2種類あります。操作盤のボタンは、押した後、手を離すと元に戻ります。

乗込口内のボタンは、押した後、矢印の方向に回して元に戻します。

トラブル発生

異常コード

非常停止釦作動

サービスセンタに連絡して下さい。

管理番号 7M-0008

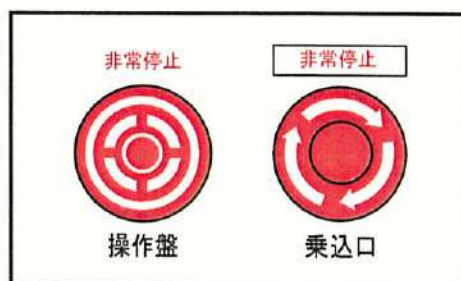
ビル名称 アルデプロ広島小町ビル

緊急連絡先 (24時間対応)

広島サービスセンタ

082-247-6860

タッチパネル表示



8.4 エラー表示への対処

機械の異常や操作ミスが発生したとき、エラー表示が操作盤のタッチパネル部に表示されます。エラー表示により、パーキングの状態を把握することができます。

エラー表示は、異常の内容により復旧できるときと、サービスセンタへ連絡する必要があるときがあります。

8.4.1 復旧可能な入庫不良への対処

■ タッチパネルに画面①や②を表示したとき

オートドアが閉まる途中に、乗込口内の人や障害物を検知すると、オートドアを反転させます。

また、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 人を退出させます。また、障害物を取り除きます。

エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。

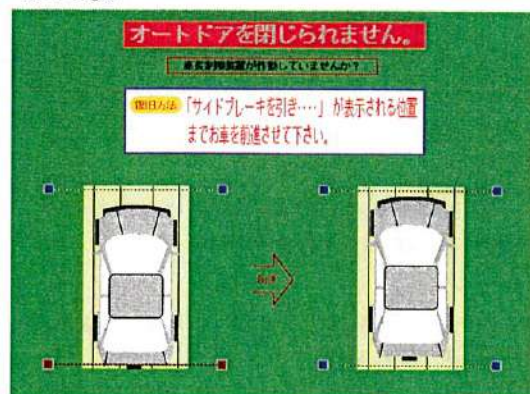
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。

3. オートドアを閉じます。

⚠危険

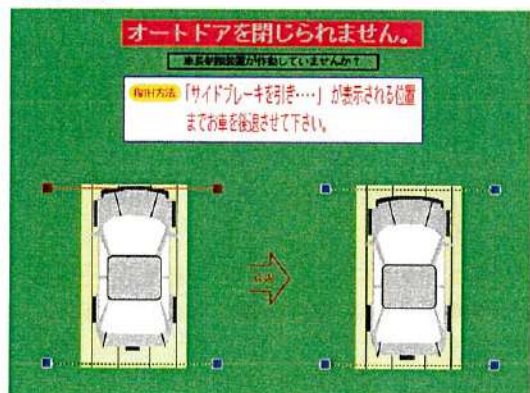
入庫可能なサイズを超える車を入庫すると、パーキングの運転中に機械と接触して事故が発生する恐れがあります。

〈画面①〉



タッチパネル表示

〈画面②〉



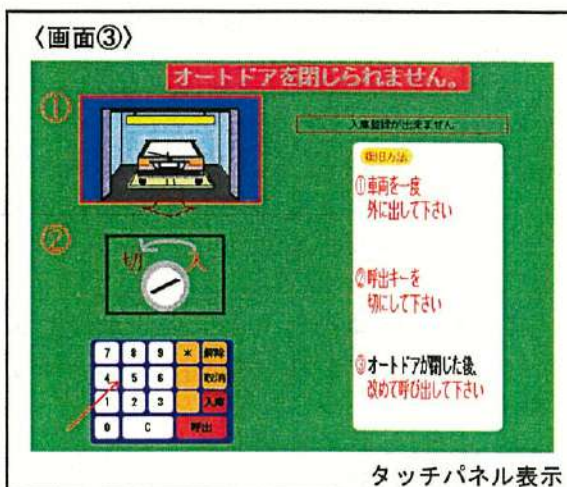
タッチパネル表示

■ タッチパネルに画面③を表示したとき

自動車が出庫した後に再度入庫したときに、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 入庫車を入庫せずに庫外へ出します。
エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。
2. 乗入口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。

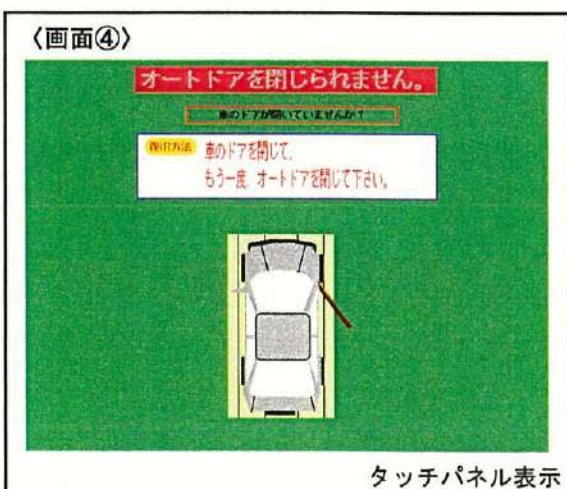


■ タッチパネルに画面④を表示したとき

パーキングの運転（オートドア閉）を開始したとき、車の右側ドアが開いたままの状態を検知すると、オートドアを反転させます。また、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 車のドアを閉めます。
パーキングの機能が復旧します。
2. 乗入口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。



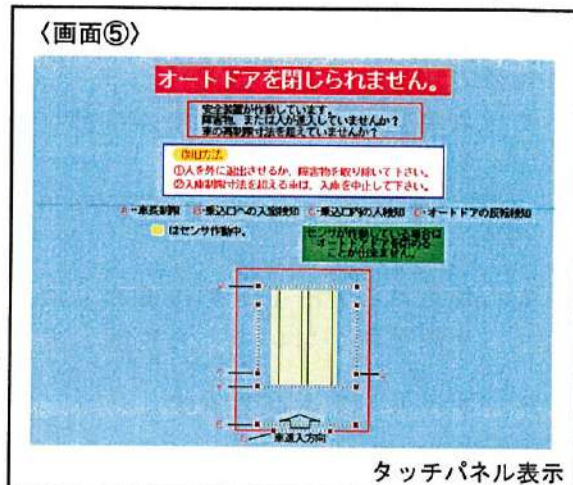
■ タッチパネルに画面⑤を表示したとき

オートドアが閉まっているときに、乗込口に人や障害物があることを検知すると、オートドアが開きます。また、パーキングの運転ができない状態になります。

〈対処方法〉

1. 人を退出させます。また、障害物を取り除きます。
2. 乗込口とオートドアのまわりに人や障害物がないことを確認します。
3. オートドアを閉じます。

エラー表示が消灯し、パーキングの機能が復旧します。



故障などの連絡、お問い合わせについては、下記サービスセンターに管理番号や状況などをお知らせください。

広島サービスセンター

Tel 082(247)6860

管理番号 00377-01-7-MG-01
7M-0008

名 称	アルデプロ	広島小町
納 入	2008年5月27日	
有償番号	81492	
型 式	MGUJ-28(T)	

 日精株式会社